STEP1/6

STEP2/6

Thunderbird を起動し、【メニューボタン】をクリックします。

		88-	đΧ
₽受信 ▼ ∮作成 ♀ チャット 2076238 ◇ 59 × ♀ /10276189-			=
▲ 日本語 ☆ 23-付き 回知3台い ◇ 97付き ◎ 添付あり	② 207オルダーのメッセージを放り込む <ctrl+shift+k></ctrl+shift+k>		
受理形// 1 ★ 0 ● ● ● 件名 ① C20冊 1 ★ 0 ● ● ● 件名 ① C20冊 2 2 冊 ② 20冊 2 2 冊	206F	送信日時	A 6

メニュー画面から、【アカウント設定】をクリックします。

- 受信NLA			ë 8	-	đ	Х
▶ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	□アドレス模 ○ 9ガ × ♥ 74ックスルター					Ę
	Q 日本語 ☆ 2/3-Hit 国知Jalu ○ 97Hit ◎ 添付あり	の 2077れルダーのメッセージを放け込む <ctrl+shift+k></ctrl+shift+k>	+ 新規作成 ○ チビコン/I			>
〕 ○ ごみ箱 (^ □ □-カルフォルダー	▶★ 00 ∞ 4 件名	通信相手	編集 🐰	ß	ŝ	>
 ごみ箱 登送信NJイ 			Q 搜索	-	-	>
			 ロール 名前を付けて保存 (こみ箱を空にする) 			>
			1 71572			-
			 アカウント設定 水 オブション 			
			, hageat			>
			77411			>
			表示 移動			> >
			メッセージ			>
			9-11 () ANJ			>
			0 187			

STEP3/6

アカウント設定の画面から【サーバー設定】をクリックします。

 ☑ 受信トレイ ☑ アカウ 	小般定 X
	アカウント設定 - <demo@wcv.jp></demo@wcv.jp>
サーバー設定	
送信控えと特別なフォルダー	アカウント名(N):
編集とアドレス入力	
迷惑メール	既定の差出人情報
ディスク領域	このアカウントで使用する既定の差出人情報を設定してください。これはメッセージの差出人が誰であるかを表すために使用されます。
エンドツーエンド暗号化	d ∺an
開封確認	名則①:
ヾ 🖿 ローカルフォルダー	X-117FV7(E):
迷惑X-ル	返信先 (Reply-to)(S): 受信者からの返信を受け取るアドレス
ディスク領域	
密送信 (SMTP) サーバー	Rame (Organization)(U):
	署名編集(<u>X</u>): HTML 形式で記述する (例: 太字 、改行は)(L)

STEP4/6

「サーバー設定」の画面が表示されます。

右の表を参照して各項目を設定します。

内容に誤りがないことを確認し、【送信(SMTP)サーバー】をクリックします。



項目	入力内容
サーバー名	ap01.wcv.jp もしくは
	ap01.warabi.ne.jp を入力します
ポート番号	995 を入力します
接続の保護	SSL/TLS を選択します
認証方式	通常のパスワード認証を選択します
	項目サーバー名ポート番号接続の保護認証方式

※サーバー名はメールアドレス@の右側と同じものを選択してください

STEP5/6

「送信(SMTP)サーバーの設定」の画面が表示されます。

wcv.jp もしくは warabi.ne.jp のサーバーを選択し、

【編集】をクリックします。

※メールアドレス@の右側と同じものを選択してください

受信トレイ	x		
サーバー設定 送信控えと特別なフォルダー 編集とアドレス入力 送惑メール ディスク領域 エンドツーエンド暗号化 開封確認 ▲回ーカルフォルダー 送惑メール ディスク領域 ② 送信 (SMTP) サーバー	送信 (SMTP) サーバーの設定 複数の差出人情報を管理している場合、使用する送信 (SMTP) サーバーをこのリストから選択できます。(原定のサー/ 択すると、このリストの原定のサーバーを使用します。 (原定)	(-を使用する)を選 追加(D) 編集(D) 削除(M) 既定値に設定(D)	; (SMTP) サーバーをこのリストから選択できます。(既定のサーバーを使用する) を選 追加(D) 編集(D) 前除(M) 既定庫に設定(T)

STEP6/6

「送信(SMTP)サーバー」の画面が表示されます。右の表を参照して各項目を 設定します。

内容に誤りがないことを確認し、【OK】をクリックして設定は完了です。

	送信 (SMTP) サーバー	×
設定		
説明(<u>D</u>):		
サーバー名(<u>S</u>):	ap01.wcv.jp	1
ポート番号(P):	465 🗘 既定值: 465	
	(2)	
セキュリティと認証	E	
接続の保護(<u>N</u>):	SSL/TLS ¥ 3	
認証方式(<u>l</u>):	通常のパスワード認証 🗸 4	
ユーザー名(<u>M</u>):	Edemo	
	OK キャンセル	

	項目	入力内容
1	サーバー名	ap01.wcv.jp もしくは
		ap01.warabi.ne.jp を入力します
2	ポート番号	465 を入れます
3	接続の保護	SSL/TLS を選択します
4	認証方式	通常のパスワード認証を選択します

※サーバー名はメールアドレス@の右側と同じものを選択してください

設定変更後、メールを送信する際に以下の画面が出た場合は、お客様アカウントのパスワードを入力し、 「ロパスワードマネージャーにパスワードを保存する」にチェックを入れて【OK】をクリックしてください。 ※次回送信時には表示されなくなります。

送信 (SN	MTP) サーバー	ap01.wcv.jp のパスワードが必要です	\times
?	ap01.wcv.jp	の のパスワードを入力してください:	
•••••			
☑ パスワードマネージャーにこのパスワードを保存する。			
		OK キャンセル	